



2022年9月1日

現勢2674名

前月比+7名

2,703名(1/1付)



発行所
東京土建一般労働組合
小平東村山支部
小平市仲町381番地
電話 042-342-2846
FAX 042-342-2848
発行人 川口 直明

【北山・飛田 重夫 組織部長 記】日頃の組合活動お疲れさまです。さて、春の仲間づくりが終わってひと息つく間も無く秋の仲間づくり月間に突入しました。予定では、バーベキューにて出陣式なのですがコロナ感染の影響で延期になり先日出陣式だけ行いました。

長丁場の2ヶ月間ですが、春の風が更に秋にも吹くように頑張つて頂けると思っています。そして目標を達成して延期になつたバーベキューを組合員さん家族で楽しみたいと思っています。

組合員、主婦の会、青年部、けやきの会、一丸となつて春以上の風を吹かせましょう！



飛田組織部長

力を合わせて春以上の「風」を



委員長の大号令でガンバロー三唱

小平東村山支部は全都一位の相談率を誇り、仲間と固く結ばれた支部です。そして、仲

員探し」が課題であるとし、次世代の担い手探しの対話も推し進めます。多くの分会が仲間づくりと同時に「役員探し」が課題であるとし、次世代の担い手探しの対話も推し進めます。

時間が増えることはより充実した組合活動に不可欠です。まずは、仲間づくりに行動に参加してみるところから、ぜひ、皆様の力を貸してください。

その後、出陣式は井上委員長の团结ガンバロー三唱。ついに、月間がはじまりました。



仲間こそ力！仲間こそ宝！



北山分会のスローガン

『家を作ろう！町を作ろう！仲間を作ろう！』

出陣式ではまず「全員集合！達成への風を吹かせよう」をスローガンとした仲間づくりの方針提示が飛田組織部長から行われました。これまでに支部では支援金申請や不払い相談など様々な相談活動を行い、「仲間をまもる」をスローガンに活動を続けてまいりました。

その結果、全都で相談率が一位で、最も仲間を守っている支部として全都をけん引しています。次に必要なことはそこで得た信頼や実績を力に代えていくこと。全員集合です。皆様の仲間にぜひ東京土建を紹介してください。

小平東村山は 全都一位の支部

守っている支部として全都をけん引しています。次に必要なことはそこで得た信頼や実績を力に代えていくこと。全員集合です。皆様の仲間にぜひ東京土建を紹介してください。

分会一丸となつて 目標達成を

次に各分会の決意表明とスローガンの発表が行われました。バスレクを企画し仲間と楽しい時間を作ることを目標とする

一つ橋分会や、組合活動をともに歩む真に実のある仲間を見つけたいと前向きな小川分会など、各分会の方針と決意が報告されました。また、多くの分会が仲間づくりと同時に「役員探し」が課題であるとし、次世代の担い手探しの対話も推し進めます。

時間が増えることはより充実した組合活動に不可欠です。まずは、仲間づくりに行動に参加してみるところから、ぜひ、皆様の力を貸してください。

その後、出陣式は井上委員長の团结ガンバロー三唱。ついに、月間がはじまりました。

秋の仲間づくり月間はじまる

8月23日（火）に秋の仲間づくり月間の出陣式が東村山市民センターで開催され、41名が参加しました。本来は21日に開催予定だったバーベキュー大会が出陣式を兼ねる予定でしたが、国内の感染状況を鑑みて延期の決断となりました。出陣式では方針提案と各分会のスローガンの発表が行われ、支部の意志統一を図りました。

これから仲間づくり日程

九月	十月	十一月
15日（木）	16日（金）	
21日（水）	22日（木）	
29日（木）	30日（金）	

※日曜行動は分会による

13日（木） 14日（金）
20日（木） 21日（金）
27日（木） 28日（金）

用水路

ロシアによるウクライナ侵攻は、24日で、開始から半年となります。▼この日はウクライナにとつて旧ソビエトからの独立記念日にも当たります。現地での戦闘は長期化する中、緊迫ります。一方、国内では軍事侵攻の長期化が建設資材やガソリンの価格高騰など、国民生活に影響し、長引く戦闘に『ウクライナ疲れ』の兆しがみられ、ウクライナ情勢への関心が低下しています。▼今後の対応については、戦闘の終結を最優先し、欧米からのウクライナへの武器の供与や領土をめぐる交渉における外交戦略と結びつけることが重要だと考えます。▼ロシアによると、ウクライナ軍事侵攻が始まってから半年、ウクライナで少なくとも5587人の一般市民が死亡、ウクライナに対しても使用された巡航ミサイルの数は3500発、国外に避難した難民の数は今月16日の時点でおよそ5万人になります。長期化するこの戦争の結果に見えるものは何か。小平東・石

平和特集 市民の願い



平和 よ、 恒久に

2022年 原水禁世界大会 報告

8月4日から6日にかけて、広島で原水禁世界大会が執り行われました。核の脅威のない世界、平和で市民が安全に暮らせる世界を願い、世界中の人々が被爆者の方々に連帯しました。小平東村山支部では平和行進から始まり、本大会には小山青年部長、尾上青年部書記

長、増田書記の3名が現地で参加し、支部を代表して平和の願いを届けました。また、支部で集まったカンパは126,284円となり、ご協力くださった皆様に感謝申し上げます。参加者から2名抜粋して、報告いたします。



77年経ても風化しない =原爆ドーム

長崎 広島と大会に参加でき貴重な経験をさせて頂いた事感謝します。自分がいかに幸せな暮らしこそされた環境で生きているかを痛感しました。より多くの人々に大会で感じた事、伝えていきたい



千羽鶴で皆の願いを届けました

多くの人が関心を持つていて、77年経つた今でも多く思いました。そしてこの大会を通して多くのことを学びました。

被ばく国として 平和を語り継ぐ責任

の影響で被害を受けていることを知り、とても心が痛みました。日本は世界で唯一原爆を投下されている国であり、当時の悲惨な状況やこれから日本の日本という国が原爆に対して絶対に保持・使用をしてはならないということを自分が少しでも語り継

威力の爆風や熱が広島に広がっていたのかが伝わってきました。

隣には川があり、そこにたくさんの人が水を求めて飛び込んでいたとうお話を聞いて、考えただけで恐ろしい光景だつたことがわかりました。

なので僕は今こうして平和に暮らしていることに感謝して、2度と日本で戦争が起こらないことを願い生きていくたいと思いました。

原水爆禁止世界大会へ参加して



8月の4・5・6日
3日間広島で開催され
原水爆禁止世界大会へ
加させて頂きました。

原水爆禁止世界大会へ参加して

小平東・尾上 雄太 青年部書記長 記

保健所の通知を待つ必要がなくなりました
＝コロナの諸申請でマイハーシス採用

土建国保の新型コロナウイルス感染症手当金、共済会の傷病見舞金など土建のコロナに関する諸申請にマイハーシスの【療養証明画面】の添付が認められました。これによつて、今まで保健所の感染証明の発行を待つてから申請していただいていたものが、療養終了と同時にこちらの画面を印刷して申請していただければすぐに手続きができるようになります。

【療養証明画面】は右図を参照してください。マイハーシスにログインしていただくと、この画面を出すことができますので、マイハーシス ID とパスワードは大切に保管してください。また、マイハーシスについてわからない、印刷が難しいなど、お困りごとはお気軽に支部までお問い合わせください。